# 18p-C9-10 TFA-MOD REBCO 線材の PO<sub>2</sub>-T 状態図と超伝導特性 PO<sub>2</sub>-T diagram and superconducting properties in TFA-MOD REBCO coated conductors 成蹊大<sup>1</sup>, 超工研<sup>2</sup> <u><sup>°</sup>河合教史<sup>1</sup></u>, 羽鳥慎也<sup>1</sup>, 鄭翔赫<sup>1</sup>, 三浦正志<sup>1</sup>, 高木裕司<sup>2</sup>, 中岡晃一<sup>2</sup>, 和泉輝郎<sup>2</sup>, 塩原融<sup>2</sup> SEIKEI Univ.<sup>1</sup>, ISTEC-SRL.<sup>2</sup>, <u><sup>°</sup>Atsushi Kawai<sup>1</sup></u>, Shinya Hatori<sup>1</sup>, Sanghyuk Jung<sup>1</sup>, Masashi Miura<sup>1</sup>, Yuji Takagi<sup>2</sup>, Kouichi Nakaoka<sup>2</sup>, Izumi Terurou<sup>2</sup>, Yuh Shiohara<sup>2</sup>

E-mail:dm136309@cc.seikei.ac.jp

### 1.はじめに

Trifluoroacetates Metal Organic Deposition(TFA-MOD 法)で作 製した  $Y_{0.77}Gd_{0.23}Ba_2Cu_3O_y(YGdBCO)$ 、 $Y_{0.77}Sm_{0.23}Ba_2Cu_3O_y(YSm$  $BCO)といった線材は TFA-YBa_2Cu_3O_y(YBCO)線材に比べ高 <math>J_c$ 特 性を示すことが確認され、電力機器応用への期待がされている [1]。これらの応用には、高特性な長尺線材が必要である[2]。

しかし、一般的に長尺線材を作製する際、長時間にわたって 成長環境(酸素分圧(PO<sub>2</sub>)、焼成温度(T)など)を維持することは難 しい。そのため、作製ウィンドウの広い材料が必要である。

そこで、本研究は材料の異なる YBCO、YGdBCO、YSmBCO 各線材の PO<sub>2</sub>、T を変化させ、超伝導特性に及ぼす影響を検討 した。

#### 2.実験方法

本研究ではIBADを用いた金属基板上にTFA-YBCO線材を作 製した[3]。作製したYBCO線材の膜厚は $0.621[\mu m]$ である。本 焼時に $PO_2 \ge 10^{-4.0} \sim 10^{-3.0} [atm]$ 、 $T \ge 670 \sim 800 [^{\circ}C] \ge 変化させた。$ 各条件で作製した線材の結晶性をX線回析法、超伝導特性は四 端子法を用いて評価した。

#### 3.結果

Fig.1(a)~(c)、Fig.2(a)~(c)に各線材の 2 軸配向領域、3.0 [MA/cm<sup>2</sup>]以上の J<sub>c</sub><sup>s.f.</sup>特性を示す領域の PO<sub>2</sub>-T 状態図を示す。 Fig.1 より各線材を比較すると、BaCeO<sub>3</sub>領域は共通して高温か つ低酸素分圧下に存在していることが確認された。また、a 軸 混在領域は各線材とも低温かつ高酸素分圧下で存在すること が確認された。

Fig.1(a)から YBCO 線材は他の線材に比べて 2 軸配向領域が

広いことが分かる。しかし、YBCO 線材は *T*<sub>c</sub>(89.5 [K])が低いために、Fig.2(a)に示すように *J*<sub>c</sub><sup>s.f.</sup> が 3.0 [MA/cm<sup>2</sup>]以上を示す領域が狭いことが分かる。

Fig.1(b)より、YGdBCO 線材は YBCO 線材よりも 2 軸配向領 域が狭い。しかし、3.0 [MA/cm<sup>2</sup>]以上の  $J_c^{s.f.}$ 特性を示す領域は YBCO 線材より広い(Fig.2(b))。これは、Y/Gd 置換により高い  $T_c$ (90.5 [K])を示すためと考えられる。

Fig.1(c)より、YSmBCO 線材は 2 軸配向を得るには他の線材 に比べて、高い温度を必要とする。そのため、BaCeO<sub>3</sub> 領域に 近づき、高  $J_c$ 領域が狭いと考えられる(Fig.2(c))。

以上の結果から、YGdBCO線材は高 J<sub>c</sub><sup>sf</sup>ウィンドウが他の線 材より広いため、実用線材に適している。

発表では更に各線材の結晶性や配向性が超伝導特性に与え る影響について述べる。

#### 謝辞

本研究は JPSPS 科研究費(24760732)、(公財)東電記念財団基 礎研究の助成、日揮・実吉奨学会研究助成を受け実施したもの である。また、超電導工学研究所における研究は新エネルギ ー・産業技術総合開発機構(NEDO)の委託によって実施された ものである。

## 参考文献

M.Miura et.al., Physica, C468(2008)1643, APEX 2(2009) 023002.
T.Izumi, Y.Siohara.physica, C470(2010)967-970.

 $[2] \mathbf{X} \mathbf{X} = \begin{bmatrix} 1 & 1 \\ 0 \end{bmatrix} \mathbf{X} \mathbf{X} = \begin{bmatrix} 1 \\ 0 \end{bmatrix} \mathbf{X} \mathbf{X} =$ 

[3] Y.Yamada et al., IEEE Trans. Appl. Supercond. 19 (2009) 3236.



Fig.1 PO2-T diagram of biaxially oriented region for (a)YBCO CCs, (b)YGdBCO CCs, (c)YSmBCO CCs.



Fig.2 PO<sub>2</sub>-T diagram of high J<sub>c</sub><sup>s.f.</sup> (≥3.0 [MA/cm<sup>2</sup>]) region for (a)YBCO CCs、(b)YGdBCO CCs、(c)YSmBCO CCs. © 2013 年 応用物理学会